

名古屋市公会堂 クラシック廣間 Vol.10 特別公演 春を謳う♪和洋の音色

事業レポート

4月からの改修工事を目前に控えた名古屋市公会堂。休館前の“クロージング企画”も大詰めを迎えています。

3月25日（土）、ロビーコンサートシリーズも最終回となるため、今回だけ会場を大ホールに移して、休館前の大ホール「見納め」「聴き納め」の特別公演として開催しました。

当日の会場の様子をご報告します。前回までのレポートもあわせてお読みください。



休館までわずか1週間足らず。

この日は公会堂の歴史や特徴のわかる「パネル展」、世界のロックアーティストが公会堂で公演した記録を振り返る「名古屋市公会堂とロックコンサートの半世紀」特別展も同時開催中でした。



いつものロビーコンサートの狭いロビーと違って、さすがに広い大ホール。

最近ではクラシックコンサートの開催が少ないので、このホールでクラシック音楽を聴くことのできる、貴重な機会です。

ロビーコンサートには毎回、将来が期待される若手演奏家が登場します。

この日は大ホールでの特別公演として、4組の演奏家たちに集まってもらいました。

それぞれ異なる楽器と編成で、春の訪れを感じさせる曲を中心にプログラムを組んで競演します。

また各組の入替時間を利用して、公会堂の歴史や大ホールの舞台で公演した世界の名演奏家たち、さらに今回の改修工事で改善されるポイントなどをご紹介します。



いよいよ開演です。

トップは箏の鹿野竜靖君。全国コンクール上位入賞の常連で、その実力は折り紙付き。まだ中学2年生ながら、堂々の演奏です。



2曲目からはフルートの長澤映子さんとのデュオで、宮城道雄の「春の海」などを披露。会場は一気に春の雰囲気満たされました。



2組目は野田真心子さんのピアノ伴奏による、渡部祐子さんのソプラノ独唱です。伸びやかな歌声に、会場はさらに春らしく明るい雰囲気に。

続いては愛知県立芸術大学の学生による木管9重奏。
前日の大学の卒業式で演奏するために編成された選
抜アンサンブルです。

メンバーは、細川杏子（フルート）、小阪怜佳、久
米伶奈（以上オーボエ）、安田莉子、岩井遥（以上
クラリネット）、藤沢芳、巢立ひかり（以上ファ
ゴット）、山崎瑞希、井上明佳（以上ホルン）の皆
さんでした。



最後に登場したのは、杉本依実南さんと上村有希さ
ん。ピアノ連弾の曲と2台ピアノの曲を交互に披露
し、いずれも迫力ある演奏で客席を圧倒しました。

公会堂にはスタインウェイとヤマハ、2台のフルコ
ンサートピアノがあります。残念ながら普段はあまり
舞台に出る機会の多くないピアノですが、この日
は大活躍でした。

2台とも、改修工事後にはオーバーホールして戻っ
て来る予定です。





終演後は、いよいよ大ホールの見納め。

これまで数々の一流音楽家たちが名演奏を残した公会堂のこの舞台。多くの方が実際に舞台上がって、その雰囲気を感じていました。

2年間の改修を経た後は、舞台の奥行きが広がり、床面は張替えて新しくなります。

これまでと同じように、音楽を始め演劇、舞踊など様々な公演がたくさんの感動を生み出す舞台として再開しますので、ご期待ください。

最後に、ご来場の皆さまの感想を一部、ご紹介します。

- 春らしい明るい気分で聴くことができました。
- 途中入場も出来てよかった。至福のひとつとき。
- 楽しい時間を過ごせ気持ちが高揚出来よかった。大変すばらしかったです。
- メジャーな曲からマイナーな曲まで様々な楽器を楽しめました。
- バリエティーに富んでいた。
- 公会堂の雰囲気と和洋の音色がマッチしていた。
- 日本の曲を若いアーティストが演奏されることはすばらしいと思います。
- 木管9重奏の息の合った演奏、ピアノ連弾の楽しそうな演奏が印象的でした。
- ピアノの連弾のとりこになりました。木管9重奏をもっと聴きたかったです。
- 2年後がとても楽しみにになりました。また素敵なコンサートをこの場で聞けたら、と今から楽しみです。
- 公会堂の歴史を知る良い機会をいただき、ありがとうございました。次回、リニューアル後も同様のコンサートを期待しています。
- 舞台上上がることができて良かった。歴史あるホールを長く使ってほしい。

では皆さま、2年後に是非この会場で、お会いしましょう。